

マスパーティーに、大人や子供も笑いが絶えない団欒風景でした。

アトラクションは、前回同様にスマイルヒストリー(樹徳高校のOG・OB)によるコンサートが始まると、参加者全員が大盛り上がりで高揚気味でした。スマイルヒストリーメンバーの立派さに改めて感激したのは、代表者の1名がサンタクロースの衣装で子供たち全員に、自前のプレゼントを配って頂いたことです。思わず子供たちは大喜び!!

恒例の倶楽部からのサンタクロースの入場も、皆さんの喝采を浴びる中で登場。理事及び行事・交流委員会の皆さんのプレゼントも合わせ、参加者人数以上の景品に最後は、水越副理事長のリードにより、ジャンケンで余った景品をプレゼント。後日、参加されたご家族数名から、“本当に楽しかった!!”とお褒めの言葉を頂きました。

最後に、ご参加頂きました社員の皆様に、行事・交流委員会より厚く感謝申し上げます。(田中一枝 記)



11月歩く会例会

備前楯山(1272m)に登る

備前楯山という山名を聞いて、どこにこの山はルート122を左折し、足尾の銀山平にある国民宿舎かじか荘の先を右折して船石林道に入り、標高980mにある駐車場から登る。ところで昔は黒岩山と呼ばれていたそうだが、備前の国から移住した治部と内蔵が、銅の露頭を発見し日光座禅院に報告した。座主は二人の功を記念して備前楯山と改名したといわれの山だ。紅葉の見どころは過ぎてはいるが、ルート122から駐車場の間は時折目の覚めるような紅葉のグラデーションと黄葉のハーモニーが目を楽しませてくれる。登山道は道標が整備され、落葉樹林の中をジグザグに登りカラマツ林を過ぎると、中間地点のベンチに出る。さらに登りがきつくなって、木の階段の登りから左側に回り込むように行くと、360度の大展望が得られる頂上だ。

天気良ければ山座同定盤を頼りに日光・足尾の山々が手に取るように見られるはずだが、残念。帰路は来た道に戻り、銀山平の庚申の湯(別名、肌がすべすべになるので、美肌の湯)により汗を流して2時過ぎの早い帰宅になった。

(岸田信克 記)

